

2023年7月4日（火）例会

「はじめに」

2023-24年度 会長 宮田幹二

2013年7月に入会して以来、瞬く間に十年が過ぎ、本年度の会長を拝命することになりました。この一年間、皆様のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

65歳で定年退職して間もない頃、畑田会員にお声をかけて頂き、その時何故か気が向き入会しました。しかし、体力的・時間的・経済的に継続可能かと迷いながら、なんとか会員を継続できた、というのが正直なところです。体力的には、長い間C型肝炎に悩まされてきましたが、ハーボニーと呼ばれる新薬で寛解できました。時間的には、大学での研究からは機会あるごとに退き、自由時間が随分多くなりました。経済的には、黒田日銀の異次元緩和政策により金融資産が膨らみ、年金に依存する家計から解放されました。現在は、体力のある間に自由時間を楽しく使って、ロータリークラブ（以下RCと略す）の世界的な奉仕活動に微力ながらも貢献できれば幸いかなとの心境です。

今年度運営方針は、本日の卓話用の別紙に記述しています。要は、R財団・米山財団の活動に貢献し、今までに積み上げられてきた五大奉仕活動を継続することです。例年と少し違うのは、豊中RCの武枝会員がガバナー補佐として活躍されることです。地区方針にもあるように、クラブ間の交流を盛んにして、RC活動を盛り上げようとの強い意志を示されています。豊中RCとしてこれを支援していけば、奉仕活動を深化させ、R活動の楽しさを得る機会になると思います。

2023年7月11日（火）例会

「私の人生観—宇宙の時空と共に—」

2023-24年度 会長 宮田幹二

1970年大阪万博の時、学部4年生で大阪大学工学部応用化学研究室に入り、分子の面白さに魅かれる日々となり、実験を通して物質世界に馴染みました。そのような中、1981年にグラフィック科学雑誌「Newton（ニュートン）」が創刊され、大学生協の本屋でぱらぱらと頁をめくり、購入するようになりました。綺麗な図や写真、分かり易い文章のため、化学以外の自然科学の諸分野、物理・生物・地学なども、なんとなく理解できるではありませんか。

「井の中の蛙」から脱する気分になれたのです。自然科学に大きく目を見開いたためでしょうか。人生観や世界観に大きな変化が起こりました。具体的には、歴史が拡張したのです。自分史、家族史、日本史、世界史がぐっと拡張し、人類の歴史、生物の歴史、細胞の歴史、地球の歴史、星の歴史、宇宙の歴史など……。物質世界の進化に心躍るようになりました。

自然科学は、物質の観点から宇宙の時間と空間を解明しつつある。基本的なストーリーは次のようです。138億年前にこの宇宙は誕生した。それから、陽子・中性子・電子・光子などの素粒子が生まれ、これらが合体して原子が誕生した。最も簡単な水素原子は集合して恒星になる。核融合で燃え尽きると爆発し、種々の原子が生まれる。別の場所では、種々の原子が集合して、惑星をもつ恒星が生まれる。こうして48億年前に地球は誕生し、現在に至っています。

2023年7月25日（火）例会

「DEI:インクルージョンの訳語 ー包摂と包接ー」

2023-24 年度 会長 宮田幹二

第 2660 地区 2023-24 年度年次目標に、「3. 参加者の積極的なかわりをうながす。」とあります。その項目の一つに、DEI「多様性・公平さ・インクルージョン」へのコミットメントを強化します、と記されています。このインクルージョン(Inclusion)について、個人的な経験を述べます。

1973 年工学部化学系研究室の助手になり、大河ドラマのように、新しい研究テーマはどうする？恩師の竹本喜一教授は「包接化合物の化学」を 1969 年に出版され、この本を基にして私の研究は始まりました。包接化合物という用語は、1955 年に理学部の関集三教授が英語の Inclusion Compounds の訳語として用い、包摂という漢字を採用しませんでした。それ以来、化学分野では、半世紀以上、包接という漢字を使い続けています。包接とは、簡単に言えば、ある物質が他の物質を取り込む現象を意味します。

近年、社会運動の一つとして、DEI が唱えられ、日本では如何に翻訳するのか。特に三番目の I に相当するインクルージョンに、包摂という漢字を新聞で初めて見た時は驚きました。個人的には、化学用語として数十年もお馴染みの包接が、包摂となっていたからです。

分子の世界はほぼ無限の多様性に富み、それらの関係は非常に複雑で、限りなく興味を引き起こします。研究生活の中で、分子の世界と人間の社会とは案外近いのかな、と感じることもあります。英語と日本語をどのように対応させるか、論文を書くときに迷うこともあります。

2023年8月1日（火）例会

「夏祭り・花火・地藏盆・盆踊り」

2023-24 年度 会長 宮田幹二

小学校の頃、大阪市都島区都島本通に住んでいました。当時の夏休みを振り返ると、近所の人達は奉仕の精神を自然に発揮し、人生を楽しんでいたのではないのでしょうか。

小学校が夏休みになると、住まい近くの都島神社では、夏祭りとなりました。エアコンの無い時代で、太鼓や鐘の音が町中に響き渡り、だんじりや獅子舞が繰り出します。昼から夜まで何時間も続く、あのリズム感のある天神囃子に魅かれ、何度も神社に足を運び、暑い夏を感じていました。町内を回るだんじりに加わり、タオル・おにぎり・お菓子・飲み物をもらいました。子供心には、夏祭りのお世話や費用を誰が負担していたのだろうと考えることも無く・・・。

家の前には母恩寺があり、お地藏さんの周辺は、自由な空間の広がる子供の遊び場でした。8月中旬のお盆になると、数十個の提灯が吊られて地藏盆となりました。夕暮れから夜になると、お寺には近所の子供たちが集まり、何かを唱えながら大きな長い数珠を回し、無病息災を願いました。さらに、町内の公園、学校などでは日をずらして盆踊りがあり、花火大会も各所でありました。早朝には、ラジオ体操の会があり、ハンコを押してもらいました。

このような地域の催しを運営していたのは誰だったのでしょうか。子供たちを巻き込んで、多くの人達が奉仕活動を人生の一部とし、きっと夏を楽しんでいたのでしょう。

2023年8月22日（火）例会

「クラブの現況、例会進行、定例理事会、合同例会」

2023-24 年度 会長 宮田幹二

「クラブの現況(2023-2024 年度)」の編集が順調に進みました。前年度と全く同じ方針で編集し、皆様の原稿がいち早く集まりました。Excel を使用した月次会計を用い、前年度会計報告と今年度予算は7月初旬にほぼ確定できました。コロナ禍もようやく通り過ぎ、年間行事はきっと順調に進むでしょう。

例会数は基本的に月三回となり、例会の進行手順は従来に比べ一部変更しています。例えば、奨学生は3分スピーチを行い、「ロータリーの友」紹介は以前より少し長めになります。また、ロータリーの歌（複数）を何度も歌いましょう。

会員数が減少した現状を踏まえ、会員間の情報共有を進め、フラットな組織にするために、月初めの定例理事会には役員・理事・監事以外の会員でもオブザーバーとして参加可能な方式にしています。そのため、事前に当月の定例理事会議題と前月の議事録を配布します。

クラブ間の交流を広げ、ロータリー活動を活性化しようとの流れがあります。合同例会はその一つです。今年度は、ガバナー訪問時の豊中南 RC 合同例会（10月12日（木））、豊中三 RC 合同例会（10月28日（土））が開催されます。後者は、武枝ガバナー補佐の熱意によるものです。

ロータリークラブを楽しむ基本の一つは、職種や年齢の枠を越えて知り合いを広げ、懇親を深めることにあるでしょう。特に、会員年数の短い会員が楽しい雰囲気を感じられるようにしたいと思います。

2023年9月5日（火）例会

「Diversity：炭素は多種多様な分子をつくる」

2023-24 年度 会長 宮田幹二

太陽は水素原子の塊で、水素の核融合でヘリウムとなります。その際に生まれるエネルギーが地球に届き、植物・動物などの生命のエネルギー源となります。水素が減ると、次にヘリウムの核融合がおこり、炭素が生まれます。地球の生命は、基本的に炭素を主とする有機分子からできています。この特徴は多種多様なことで、無限の種類があります。

無限種類の有機分子の存在を 20 歳前後に初めて学び、それが人生観に結びついていったことは間違いありません。アルファベット 26 を繋げば、無限種の文章となる。ひらがなをつないでも同様に、31 文字を繋ぐだけでもほぼ無限の短歌となる。人間が有機分子からできていることに理解が深まるにつれ、人間も多種多様であることは余りにも当然である。なのに、人間社会は・・・？

生命を作る分子の代表の一つはタンパク質です。地球の生物には 20 種類のアミノ酸があり、これらの繋ぎ方は無限にある。そのため、多種多様なタンパク質が生まれるのは当然となります。そのようなタンパク質を巧く組み合わせると、機能をもつようになる。見る、聞く、話す、考える・・・歩く、走る、立つ、座る・・・眠る、起きる、あくびする・・・などなどの動作で、生活する。

ロータリークラブ会員も世界を見渡せば、多種多様だろう。もっと若い時に、時間と余裕があり、ロータリーの世界に馴染んでいれば、世界観、人生観はどうなっていたらろう・・・。

2023年9月12日（火）例会

「チームで対外的奉仕活動を実践」

2023-24 年度 会長 宮田幹二

阪神のあれ（18年ぶりのセ・リーグ優勝）が近づきました。野球に限らず、サッカー、バスケット、ラグビーなど、チーム力で競い合います。個人の圧倒的な力に頼らず、個性的な力の集合が面白いですね。チーム力を高めるには、情報が必須となり、その独占は許されず、共有が欠かせません。

豊中 RC の対外的な奉仕活動の四大柱は、(1)ポリオ撲滅活動支援、(2)タイへの医療支援、(3)子ども食堂支援、(4)留学生支援です。(1)はポリオプラス基金に寄付し、撲滅の知らせをひたすら待ちます。しかし、(2)-(4)は、ロータリー財団にまず寄付し、次にこの財団からの補助金を獲得しながら、進めています。そのため、申請書や報告書を書き、資金管理を確実に行うことが必要になります。

各補助金について、必須事項を理解し、一連の作業を進めるには、複数会員によるチームを編成し、共同で作業を進めるのが得策ではないでしょうか。ある会員がいなくなっても、奉仕事業は予定通りに進行するというチームを作るのです。

ところで、出前授業は復活できるでしょうか。職業・社会・青少年・国際奉仕として、会員の専門的知識を生かす機会になるはずです。

2023年9月26日（火）例会

「ガバナー訪問時の豊中南 RC との合同例会；豊中・豊中南・豊中千里 3 RC の合同例会」

2023-24 年度 会長 宮田幹二

昨年度から、ガバナー公式訪問の例会は、豊中南との合同例会となりました。担当は年度毎に交代し、今年度は豊中南 RC が担当します。そのため、会場はいつもと同じですが、曜日は変わり、10月12日木曜日12時30分から13時30分となります。今年度のガバナーは、大阪大淀 RC の延原健二様です。会場に入場される時は盛大な拍手でお迎えください。なお、会長・幹事・会長エレクト・五大奉仕委員長が出席する事前懇談会は、例会前の11時20分から12時20分に行われます。

さらに、武枝ガバナー補佐の主導で、今年度は豊中・豊中南・豊中千里の3RC合同例会が開催されることになりました。場所は大阪梅田のホテル阪急インターナショナル、日時は10月28日土曜日の夕刻18時30分開始です。ようやくコロナ禍も終息し、大勢の会員が集えます。アトラクションには、ピアノ・エレクトーン・和太鼓の演奏が行われます。司会はフリーアナウンサーの梅田淳さんです。彼の面白い楽しい語りで、賑やかな楽しい例会になると思います。

本日は、ガバナー補佐の第1回クラブ訪問日で、第1回クラブ協議会が開催されます。役員・理事・監事・各委員会長の皆様の御出席をお願いします。

ようやく猛暑は過ぎようとしています。秋の家族会（10月22日（日））も迫ってきました。

2023年10月3日（火）例会

「10月24日：ポリオデー」

2023-24年度 会長 宮田幹二

10月24日は世界ポリオデーです。地区ロータリー財団セミナー（2023.9.2開催）資料より、引用します。ポリオ根絶は「ロータリーの最優先課題」であり、世界中の子どもたちへのロータリーの約束」です。加えて、ポリオ・プラスプログラムが成功裏に終了するまで、いかなる他の組織全体のプロジェクトも検討されない（ロータリー章典（2019年1月））と、不退転の決意です。

昨年、ポリオの常在国は2か国（アフガニスタン、パキスタン）のみとなりました。しかし、ワクチン投与は、根絶が確認されるまで世界中で継続されます。不活化ワクチンは5000円ぐらい、毎年4億人以上の子どもに予防接種を行います。第2660地区では、50\$以上の寄付を各会員にお願いし、豊中RCではポリオ・プラス基金寄付として第2四半期に、60\$を集め、加えて毎年募金箱も回しています。

ポリオが世界から根絶されれば、天然痘に続いて2番目に根絶される疾病となり、歴史上で最も偉大な公共保健での達成の一つとなります。その時がもう眼前にある・・・と思います。

10月の火曜日通常例会は本日のみです。来週12日（木）にはガバナー公式訪問があり、豊中南RCとの合同例会となります。例会前には、事前懇談会も行われます。22日（日）は、秋の家族会で奈良飛鳥に行きます。28日（土）は、豊中・豊中南・豊中千里の三RC合同例会で、会場はホテル阪急インターナショナルです。

2023年10月12日（木）例会（豊中・豊中南RC合同例会）

「民主主義（自由・平等・友愛）の社会への浸透と方向性」

2023-24年度 会長 宮田幹二

第二次世界大戦後の1948年に生まれ、戦後教育で民主主義（自由・平等・友愛）について学習しました。1981年33歳のとき、当時西ドイツの南西部シュツットガルトにフンボルト財団奨学生として、一年間滞在する機会を得ました。この滞在中の経験は、日欧の日常生活を比較しながら、帰国後の人生で民主主義がどのように具体化しているかを考える糧になりました。

例えば、大学の研究室の薬品管理は厳しく、排気設備は万全でした。日本と違い完全に週休二日で、土・日曜日に行くとは研究室には誰もいません。長期休暇を取り、国内外の旅行に行きます。車社会とはいえ、歩行者天国の旧市街は快適で、電車バスは改札無し、分煙、優先乗車でした。高齢者が多く、女性の社会進出が目立ちます。大学の化学系では、女性が3割ぐらいで、大学院にも進学します。当時日本の経済は高成長が続き、ドイツは低成長でした。

当時は、日欧文化の違いかなとの理解でしたが、徐々に民主主義の社会への浸透度の違いだと思うようになりました。なぜなら、時間が経つにつれ、日本が変わってきたのです。社会保障、労働時間、休暇制、労働環境、分煙禁煙、高齢化、少子化、公害撲滅、自然保護、女性の社会進出・・・・。民主主義には方向性があり、日本は追いかけています。ロータリーの年次目標には、DEI（多様性・公平さ・インクルージョン（包摂））が入っています。あれから40年、日本は変わったなとつくづく思います。

現政権により、資産倍増が提唱され、日本も金融大国になるでしょうか。

2023年10月22日（日）例会（職場見学と秋の家族会）

「飛鳥・白鳳時代の女性天皇」

2023-24 年度 会長 宮田幹二

7世紀、日本は中国の王朝「唐」から最新の文明を導入し、新時代を築きました。この時代、不思議なことに女性天皇が3人もいて、重要な役割を演じました。

1. 推古天皇[推古元年(593)～推古36年(628)] 子の厩戸皇子（聖徳太子）を摂政とした。
2. 皇極天皇[皇極元年(642)～皇極3年(645)] 645年大化改新後、孝徳天皇に譲位した。
齊明天皇[齊明元年(655)～齊明7年(661)]: 再度天皇となる。朝鮮の百済救援の途中で崩御。
飛鳥で土木工事を進めた。近年、水に関係する石造遺跡が多数発掘された。
3. 持統天皇[持統元年(687)～持統11年(697)] 大化元年(645)誕生、夫の大海人皇子と壬申の乱(672)で勝利、藤原京に遷都(694)、文武天皇に譲位(697)、崩御火葬(702)、天武陵に合葬
春過ぎて 夏来るらし 白たへの 衣干したり 天の香久山 (巻1・28)
(はるすぎて なつきたるらし しろたへの ころもほしたり あめのかぐやま)

「飛鳥・藤原の宮都とその関連遺産群」は世界遺産に登録される日がくるでしょう。

10月24日（火）は、世界ポリオデーです。日本経済新聞10月15日（日）朝刊に、日本ロータリーが全面広告を出しました。尾身茂氏の大きな写真が載せられています。回覧しますので、御一読ください。

2023年11月7日（火）例会

「豊中 RC ホームページの更新」

2023-24 年度 会長 宮田幹二

ホームページの技術が開発されて、30年近くになります。豊中 RC でも、雑誌・広報・会報委員会が担当してきました。最近では、新しい技術が次々と導入され、これまでの、文章や写真に限らず、動画や大量データの掲載が可能になっています。費用も安くなり、データ更新も容易になり、安全性も高まっています。また、最近の SNS にも対応できます。

ガバナー補佐の武枝会員から、地区の公共イメージ向上の要請にも対応し、業者委託も視野に入れて、当クラブのホームページを更新しようとの提案がありました。これを受けて、武枝会員に加え、会長、幹事、広報委員会委員長で議論しました。その結果、(株)シンカネットに委託し、新ホームページの設計と今後の維持更新を行うことにしました。

これを巧く使えば、クラブ外の人達にも、また若い世代に向けても、今まで以上に当クラブの奉仕活動を理解してもらえるようになるでしょう。さらに、クラブ内での大量の過去データを保存し、閲覧することが可能になります。極端に言えば、クラブ創立以来のデータ閲覧が可能になります。そのため、各奉仕委員会の記録が伝達され易くなり、年度間での奉仕活動の引継ぎが円滑にできるようになると期待できます。また、会員のみ閲覧できるコーナーもできます。

クラブ活動は、楽しいことが何よりも必要でしょう。家族会などの写真や動画、個性的な卓話・講演などの文章や図などが集まれば、仲間や家族で楽しい時間が増えると面白いですね。

2023年11月21日（火）例会

「豊中市美術展での豊中ロータリークラブ賞：公共イメージの向上」

2023-24 年度 会長 宮田幹二

「豊中ロータリークラブ」という名前は、街中で見ることができるのでしょうか。豊中市美術展が毎年秋に、豊中市立文化芸術センターにて開催されます。今年は第69回で、前期(10月25日-29日：洋画／工芸／デザイン)と後期(11月8日-12日：日本画／彫塑・立体造形／書／写真)で7部に分かれて開催されました。豊中市美術展実行委員会が主催し、豊中市教育委員会が後援しています。

それぞれの部に、賞が授与されます。次のようなものです。市長賞、教育委員会賞、美術協会賞、会員推挙賞、豊中市文化芸術連盟賞、そして豊中ロータリークラブ賞、豊中ライオンズクラブ賞、豊中中央ライオンズクラブ賞、協賛賞・・・と続きます。

豊中ロータリークラブ賞の受賞者（敬称略）と作品名は、次の通りです。

【洋画の部】 上田順子：青葉影、 【工芸の部】 佐伯恵子：釈迦如来坐像

【デザインの部】 玉置良博：煩悩（x）悩、 【日本画の部】 風間虹樹：いのちの日々。火を灯す、

【彫塑・立体造形の部】 黄野俊明：ネパールの女、 【書の部】 堤 恭子：朱喜の詩「偶成」

【写真の部】 佐藤輝明：NY 平和への幻

応募人数は、総合計391人、入選点数249、入賞点数52です。この美術展に来た人たちは、きっと「豊中ロータリークラブ」という言葉を認知したことでしょう。この美術展は第69回であり、豊中ロータリークラブは創立65周年です。これまでに何人ぐらいの人達が、この美術展のお陰で、豊中ロータリークラブを認知してくれたのでしょうか。公共イメージ向上につながったと思われてなりません。

2023年11月28日（火）例会

「地球の重さ：億（ 10^8 ）を使う遊び」

2023-24 年度 会長 宮田幹二

億という言葉が気に入っています。というのは、科学の世界では、小さすぎる、あるいは大きすぎる数字を扱うことが多く、日常生活の実感とかけ離れます。そこで1億倍あるいは1億分の1にして考えると、案外身近になり面白いなと気づきます。例えば、地球の直径は1万3000km (0.13×10^8 m)、東京と博多間を約1000kmとすると、この13倍です。地球を1億分の1にすると13cm、従って、直径13cmの地球儀は1億分の1の地球になります。

地球の重さはどれぐらいでしょうか。13cmの地球儀を近似して、縦横高さ10cmの器とします。体積は $1000\text{cm}^3=1000\text{m}^3$ となり、牛乳容器の半分ぐらいです。水の重さでは、1kgとなります。もし地球が水だけでできていれば、 $1\text{kg} \times 10^8 \times 10^8 \times 10^8 = 1 \times 10^{24}\text{kg}$ となります。実際には、岩石や鉄などがあり、 $6 \times 10^{24}\text{kg}$ となっています。

化学の世界で学ぶと、距離を示すのに、オングストローム（Å）という単位が昔はよく使われました。これは、 10^{-8} に関係する単位で、1オングストローム（Å）は1億分の1cmです。例えば、水素原子の大きさは、約1オングストロームと習うのです。従って、水素原子は1億倍すると、1cmの球になります。

光の速さは、秒速30万km、地球7回り半します。これを1億分の1にすると、秒速3mとなり、軽いジョギングの速さです。人生百年はおおよそ30億秒で、遺伝暗号ATGCを1秒1文字の速さで読んでいくと、ヒトの遺伝子を読み上げるには百年かかります。

大学の教壇では冗談も必要で、1億円を自由に使いこなして悠々と研究したいなど、講義を締めくくっていました。

2023年12月5日（火）例会

「地球は46億歳：激変した環境と生物進化」

2023-24年度 会長 宮田幹二

小学校時代から今まで、地球の不思議な歴史について、いろいろと学びました。40歳前後から、地球は46億歳で、環境が激変し、それに伴い生物が進化した歴史をもつことを知り、驚愕しました。

ほぼ46億年前、諸種の物質の漂う星雲で、水素の集団である太陽が生まれ、核融合が起こり輝きます。太陽の周りではもっと重い物質が集合して塊となり、衝突を繰り返して大きくなり、灼熱地獄の惑星ができます。太陽から三番目の惑星の地球は徐々に冷えて液体となり、雨となって降り注ぎ、海ができました。大気はほとんどが二酸化炭素(CO₂)で、酸素(O₂)はわずかでした。

海には、様々な物質が溶けこみます。海底では、数億年後には細胞と呼ばれる生命が誕生しました。初めの細胞は地球内部の熱をエネルギーとして使いましたが、太陽のエネルギーを使う細胞が出現しました。この新細胞は、二酸化炭素から酸素を生成し、地球の大気には酸素が蓄積します。すると、酸素を使う細胞が生まれ、二酸化炭素を使う細胞は減り、地球が氷で覆われる時代がきました。

地球の内部熱で氷が解け、酸素の豊富な中で、細胞同士が融合し、ミトコンドリアと呼ばれるエネルギー発生装置が生まれ、さらに遺伝子を収容する核が生まれます。すると、細胞は巨大化が可能となり、さらに細胞同士が集合して多細胞生命が生まれ、どんどん進みます。6500万年前には大隕石が衝突。恐竜は滅び、哺乳類が繁栄し、ヒトが生まれました。

2023年12月12日（火）例会

「豊中ロータリークラブの会計報告」

2023-24年度 会長 宮田幹二

豊中 RC でのデジタル化と情報共有の進展を、会計報告を一例として考えます。例えば、「クラブの現況」に掲載されている繰越金の数値により、財政状況が読み取れます。

(2013-2014-2015)： 予算表のみが掲載、前年度繰越金は 0 と記入、前年度会計は報告無しです。

(2015-2016-2017)： 予算表では繰越金が0か、未記入。前年度会計報告、財産目録が掲載。

きっと、予算が潤沢なため、このような報告でも、異議を唱える必要はなかったのでしょうか。

(2017-2018)： 予算表の繰越金（一般35万円：奉仕15万円）。会計報告書繰越金（111万円：15万円）。

(2018-2019)： 予算表の繰越金（一般76万円：奉仕53万円）。会計報告書繰越金（46万円：33万円）。

(2019-2020)： 予算表の繰越金（一般50万円：奉仕80万円）。会計報告書繰越金（55万円：150万円）。

以下の年度から、繰越金が一致し、コロナ禍で増大しました。しかし、今後はどうなるのでしょうか。

(2020-2021)： 予算表の繰越金（135万円：86万円）。会計報告書繰越金（135万円：86万円）。

(2021-2022)： 予算表の繰越金（220万円：248万円）。会計報告書繰越金（220万円：248万円）。

(2022-2023)： 予算表の繰越金（281万円：144万円）。会計報告書繰越金（281万円：144万円）。

2022年7月からExcelを用い月次会計を導入し、事務能率はぐっと上昇しました。

(2023-2024)： 予算表の繰越金（157万円：117万円）。会計報告書繰越金（157万円：117万円）。

例会数を月3回に減らし、昼食費を減らしてやり繰りしてきましたが、会員減少が続くと限界がきます。

2023年12月23日（土）年末家族会

「年末家族会」

2023-24 年度 会長 宮田幹二

早くも 2023 年の年末が近づきました。幸いコロナは終息し、本日の年末家族会を迎え、安堵しています。この家族会を皆で存分に楽しみましょう。

思い返せば、阪神は“アレ”を成し遂げ、38年ぶりの日本一となり、御堂筋をパレードしました。やはり長かったなー、と溜息がでます。でも思い返せば、3月頃は、岡田は何を言ってるのだと、呆れていました。きっと、岡田監督には、何らかのひらめきがあったのでしょうか、こうすれば変えられる、優勝できると。

大谷翔平のドジャース入団記者会見を見ました。日本の野球選手が、こんなことを実現したのだ、信じられないという気持ちが先立ちました。子供の頃、ペーブルースのことを本で読み、心躍ったことを思い出します。大谷翔平が中心になって、ドジャースがワールドシリーズ制覇を目指す！何か実現しそうな気になります。

来年の優勝チームはどの球団でしょうか。世の中では、どんなことが起こるでしょうか。予想もつかない、思いがけないことが起こるでしょうか。

2024年1月6日（土）新年互礼会

「新年互礼会」

2023-24 年度 会長 宮田幹二

新年おめでとうございます。今年は辰年で、十二支の中で最も縁起の良い干支という説もあるようです。縁起の良い初夢を見たいと毎年願うのですが、なかなか実現しないのが、我が人生です。そこで実現可能な夢を探しました。豊中 RC は本年6月27日に創立 65 周年を迎えます。この65年間の豊中 RC の足跡をホームページ（HP と略す）に記すことは、実現可能なはずで。

昨年（株）シンカネットに依頼し、HP をほぼ10年ぶりにリニューアルしました。現在の技術では、ほぼ無限と言える情報量を記せます。例えば、週報は今後もずっと掲載されますし、クラブの現況や周年記念誌なども保存できます。さらに各種の親睦行事の記念写真なども多数掲載可能となります。

こうすれば、パソコンに限らず、スマホ（携帯電話）の画面でも、豊中 RC の関係情報をクラブ内外の人が、簡単に見ることができます。この画面を見て、家族や知人との会話がはずみ、楽しい時間が増えるかもしれません。さらに、周囲の人に豊中 RC をアピールする機会が増えるかもしれません。世界各地の元留学生ともつながるかもしれません。

2024年1月16日（火）例会

「地震：惑星内部のマグマと表面の地殻・水」

2023-24年度 会長 宮田幹二

1月1日正月に能登半島地震が起こりました。被災された方々にお見舞い申し上げます。

地球は、この46億年間で生命の進化を導き、人類を生み出しました。これは、太陽光とともに、地球内部のマグマ、表面の地殻と水が重要な役割を果たします。内部には高温のマグマがあり、これがゆっくりと対流しています。表面にある地殻は、大陸の地殻と海底にある地殻に分かれます。マグマはゆっくりと対流して地殻を動かし、割れ目からは、マグマなどが噴出し火山となります。

地球の地殻はいくつにも分かれ、それらが移動し衝突しています。例えば、1年に1cm動けば、1億年では1億cm即ち1000kmも動きます。地殻同士の境目では、時々突然ずれて動き、断層が生じ、地震が起こります。境目近くで生活すれば、人生百年の間には、地震を何度も体験することになります。

地球以外にも、生物が存在する星があるでしょうか。水の存在が重要です。太陽系内では、惑星とそれを周回する衛星での水の探査が進んできました。火星では、地下に水が存在している可能性があります。また、表面が氷で覆われていても、内部には液体の水がありそうな衛星が見つかっています。例えば、木星の衛星「エウロパ」、土星の衛星「エンセラダス」です。一方、太陽系外では1992年の発見以来、すでに惑星が五千個以上見つかりました。今後、水の存在が確認できるでしょうか。

2024年1月23日（火）例会

「冬の星空」

2023-24年度 会長 宮田幹二

健康維持には歩くのが一番手軽で安上がりと思い、ウォーキングを楽しんでいます。昼間に限らず、夜中のウォーキングも結構楽しめます。それは星空が季節により、当然変わるからです。自宅近くには街灯も多く、ほんとに明るい星しか見えませんが、冬の星空は少しにぎやかです。太陽系の地球で、何故我々は生まれたのか。この謎を解く科学的考察が進むにつれ、当然太陽以外の星はどうなのだろうと想像できることになります。

1月の夜10時頃、ほぼ真南に青い星のシリウス（おおいて座）が見えます。太陽から2番目（8.6光年）に近いので、北半球で見える恒星の中では最も明るく輝きます。太陽と比べると、シリウスは直径で約2倍の大きさで、若い星です。太陽よりずっと早く燃え尽き、寿命は5億年ぐらいと計算されています。太陽はほぼ46億歳、寿命は80億年ぐらいです。なお、一番近い恒星は南半球で見えます。

シリウスの上に、四角形の星座、オリオン座があります。その真ん中に三ツ星が並んでいますが、その左下には、大星雲があり、続々と星が生まれています。水素の集まる星雲のなかで、密度が高くなり核融合が起こると、恒星の誕生となります。一方、オリオン座の四角形の左上の赤い星ペテルギウスは、もうすぐ死を迎える星です。星の膨張が進み、非常に大きな星となり、火星を飲み込むぐらいです。オリオン座の上には、かに星雲があり、平安時代に爆発、超新星となり、昼間でも輝きました。

シリウスとオリオン座の左上には、斜めに通る長い銀河があり、その中に私達はいます。

2024年2月6日（火）例会

「第2660地区の能登半島地震支援方針」

2023-24年度 会長 宮田幹二

第2610地区（石川・富山）のガバナーから全国のガバナーに、次のような支援金要請が出ました（1月9日付）。すなわち、国際ロータリー第2610地区では、令和6年能登半島地震災害支援本部において、必要とする支援について情報収集し、皆様からの浄財を有効に活用させていただきます（受付期間1月10日から3月29日）。

これを受けて、第2660地区では、素早く次のような対応がなされています（1月22日付メール）。

- ①：地区活動資金からの100万円を1月15日付で第2610地区に送金いたしました。
- ②：地区内各クラブに支援金要請のお願いをさせていただき、頂戴した支援金は、地区が取りまとめ、順次、第2610地区に送金する予定です。
- ③：地区補助金臨時費（総額300万円）を被災者の人道的支援に宛てることといたしました。これにより地区補助金を活用した支援活動をしていただくことが可能となります。

豊中ロータリークラブでは、上記②にそって1月に早速募金活動を行いました。上記③に沿う支援活動は可能でしょうか。プロジェクト名は能登半島震災支援のための人道的支援奉仕活動（例えば被災者への生活必需品の提供など）、申請期間は2月1日から4月30日、補助金申請額は50万円以下でクラブ拠出金は申請額の10%以下です。会員による提案があれば、2月か3月の定例理事会で検討したいと思います。

2024年2月13日（火）例会

「豊中の文化活動」

2023-24年度 会長 宮田幹二

前々回は夜のウォーキングの楽しみとして、冬の星空について話し、水素の核融合によるエネルギー創出を述べました。今回は、昼のウォーキングの楽しみを話します。自宅の近くには、豊中市役所があり、ブロンズ像のロダン「考える人」と沖繩の「シーサー像」に出合います。岡町商店街を少し歩くと、原田神社があります。境内には、大木が20本ほどあり、良い香りが漂い、秋の大祭では獅子踊りがあります。神社入口前の能勢街道を通ると、鉄腕アトムを描いた漫画家手塚治虫が幼少期を過ごしたところに出ます。南に行くと、東光院菘の寺があり、門前にはお地藏さんが微笑んでいます。

豊中市には様々な文化遺産があり、活発に文化芸術活動が行われています。そのような中で、豊中RCがどのように関与しているだろうか、と考えてみました。豊中美術展は毎年秋に開催され、豊中RC賞が贈られています。今回は第65回であり、今までにどのような作品がこの賞に輝いたのか、興味が湧きます。整理してホームページに掲載できるでしょうか。

週報などから、豊中RC会員の文化との関わりも想起できます。松山会員は尺八演奏家で、三曲演奏会（三絃・箏・尺八）に毎年出演されています。村司会員は、豊中市茶華道連盟を牽引され、正月には阪急百貨店1階の展示場で大きな生花が展示されます。岩本会員は、宝塚ファンで、日本センチュリー交響楽団の理事をされています。矢口会員は、豊中RC会員であった西山氏の庭園保存に尽力されています。船橋会員は長年の乗馬愛好者とのことです。豊中RCには、文化力があると感じます。

2024年2月27日（火）例会

「雑念と共に聴くクラシック音楽」

2023-24 年度 会長 宮田幹二

夜のウォーキングの楽しみの一つは、クラシック音楽をイヤフォンで素人なりに気持ちよく聴けることです。昼間はいろいろな騒音で、聞き取り取りにくい音でもかなり聞きやすくなります。と言っても、余りに集中し過ぎると、愛犬と散歩中の人、あるいは無点灯の自転車とぶつかることにもなりかねません。というわけで、素人なりに集中し過ぎることなく、思い浮かぶ雑念と共に、ただ気楽に楽しむだけです。

毎日30分から60分ぐらいウォーキングに時間をかけます。5年も続くと、いろいろなアイデアが湧いてきました。その中で、ベートーヴェンの交響曲第1番から第9番を全曲聴いてみようと思いつきました。今まで、代表的な部分しか聞いてこなかった自分には、何か変化が起こるかもしれない。彼の若い時から、死に近い頃までたどれば、どんな変化があるのだろうか。関係の書籍を飛ばし読みしながら聞くと、やはり、すごい人生だなと感じます。

ピアノ曲もかなり聞きました。今までは単純な旋律などを口ずさむだけでしたが、ピアノの音だけに集中すると、ようやく左右の音の違いが聞き取れるようになりました。ショパンのピアノソナタを初めから終わりまで聴き、彼の祖国ポーランドの歴史を少し知ると、曲の印象が変わります。ピアノとバイオリンの協奏曲になりますと、互いにどう響き合っているのかと思うようになりました。

定年後の自由な時間をどのように過ごそうか。ウォーキングを根気よく続けて、これから10年ぐらいは心身ともに健全でありたいものです。

2024年3月5日（火）例会

「自然は発明が大好き」

2023-24 年度 会長 宮田幹二

高校生の時に、これからは生命を分子で理解する時代が来る、との話を授業で聞き、化学の世界に入りました。その後学んだことの一つは、限られた素材を使って無限種の部品を作り、その中から、使えるものを試行錯誤で選び抜き、次の世代に伝える、という作業です。私なりに言い換えると、生物は発明が大好きなのです。発明や創造は、人間だけではなく、生物の本質です。

例えば、タンパク質のアミノ酸は、20種類あり、これらを組み合わせれば、ほぼ無限種類のタンパク質を作れます。そして、それらの機能を試します。何か素晴らしい機能を持てば、これぞ大発明というわけです。ほぼ40億年前に、単細胞生物が生まれて以来、一体どれほどの試行錯誤があったのでしょうか。ちょっと計算できないですね。次々と素晴らしい機能部品が発明され、生物は進化しました。

地球誕生からおそらく数億年後に作られた機能部品の一つを話します。生きるために必要な化学反応には、エネルギーが必要です。生物はこのための機能部品として、分子モーターを発明しました。水の流れて回転するタービンが電気を作るように、膜に埋め込まれた分子モーターはプロトンの流れて回転し、ATPと呼ばれる分子を作ります。このATPが、化学反応に必要なエネルギーを供給します。

私達の体にある分子モーターは、毎秒17回ぐらい回転しているとのこと。体の中で何千兆個の分子モーターが動いて、私たちは生きている、と考えると、愉快かな？

2024年3月12日（火）例会

「ガバナー月信から」

2023-24年度 会長 宮田幹二

ガバナー月信（データ版）が毎月初めに配信されます。ガバナーメッセージ、会議報告、諸種のデータなど、第2660地区の各種情報が掲載されています。3月号を読んでいると、「近藤雅臣先生 楽しいロータリアン人生、ありがとうございました」パストガバナー井上暎夫（千里RC）という記事が目にとまりました。聞いたことのある名前、そうだ大阪大学薬学部教授、私の恩師竹本教授の知り合いだった人だ。

2月号では、敬弔、名誉会員（千里RC） 2024年1月22日逝去享年93歳、ガバナー（1997～1998、2000～01）、関西4地区連合地区大会実行委員長、国際大会（関西）実行委員長、国際ロータリー理事、米山功労者メジャードナー、ベネファクター（大口寄付者）・ロータリー財団メジャードナー。

1990年代のことですが、恩師そして薬学部教授から電話があり、スリランカからの留学生の夫は薬学部で博士学位を取るが、妻の方にも博士学位を取らせられないか、という趣旨でした。夫の帰国までの研究生とのことだったのですが、これは大変や。ならば、大急ぎでデータ整理して論文を書かねばと、岐阜と大阪を何度も往復しました。あの当時は、アジアの発展途上国からの留学生はまだごく少数で、国際交流推進派の恩師と近藤先生による若者への賭けでした。

ジャズ演奏もされたとか。大阪での国際大会では、プレ開催の4地区連合地区大会でRI会長をオープナーで登場、大阪の3大交響楽団の合同演奏会……。多彩で見事なロータリアンに敬意を表し、御冥福を祈ります。

2024年3月26日（火）例会

「ロータリー賞に関するお願い： ガバナー月信9月号」

2023-24年度 会長 宮田幹二

ロータリー賞に関して、ガバナー月信9月号、ガバナー公式訪問、ガバナー補佐訪問、会長幹事会などで繰り返し、各クラブで積極的な取り組みをするようお願いが出ています。この賞の獲得には、クラブが正規にRIに加盟しており、26個の目標候補の中から、13個以上の項目を選択し、達成することが必要となります。別紙（配布）には、26個の目標とそれらの詳細が記されています。

豊中RCでは、現時点で考えると、達成可能な目標は14個（○印）あり、今後さらに3個（△印）追加可能でしょうか。さらに、ロータリー行動グループへの参加、ロータリー親睦活動グループへの参加、という2項目（?印）については、行動グループと親睦活動グループの定義次第では、追加可能になると思われます。

他の7項目（大口寄付、遺贈友の会会員、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、来訪する青少年交換学生、派遣する青少年交換学生、ロータリー作成の公式推進用資料の使用）に関しては、達成は困難でしょう。

受賞には、5月末までに、マイロータリークラブの「ロータリークラブ・セントラル」で達成したことを報告する必要があります。会員の皆様の御協力をお願い致します。

2024年4月2日（火）例会

「第2660地区RCの創立周年記念日」

2023-24年度 会長 宮田幹二

第2660地区にはRCが15クラブあります。今年度に創立周年記念日を迎えるRCは7クラブあり、次のようになっています。

1. 豊中南RC 創立55周年(2023/11/7(火)) 記念式典・祝宴会場：ホテル阪急インターナショナル
2. 大阪そねざきRC 創立30周年(2024/3/6(水)) 記念式典・祝宴会場：ヒルトン大阪
3. 大阪中央RC 創立40周年(2024/4/4(木)) 記念式典・祝宴会場：ホテルグランピア大阪
4. 池田くれはRC 創立40周年(2024/4/13(土)) 記念式典・祝宴会場：不死王閣
5. 箕面RC 創立55周年記念例会(2024/4/18(木)招待無し)
6. 池田RC 創立70周年(2024/4/21(日)) 記念式典・祝宴会場：宝塚ホテル
7. 豊中RC 創立65周年記念例会(2024/6/15(土)招待無し)：ホテル阪急インターナショナル

既に、上記1, 2の記念式典・祝宴に参加しました。豊中南RCでは、中華民国台湾と大韓民国の姉妹クラブが招待され、豊中市長・延原ガバナーなどの来賓祝辞、音楽演奏で盛大な祝宴がありました。大阪そねざきRCでは、ガバナーなどの来賓祝辞があり、部屋を変えた祝宴では、人形浄瑠璃文楽座人形遣い・桐竹勘十郎氏（人間国宝）の「お初」（お初天神）の披露、太鼓演奏などがありました。

なお、お祝金については、今年度の会長・幹事会で議論され、一人出席の場合3万円、二人の場合5万円、三人の場合8万円となっています。

2024年4月7日（日）例会

「桜の花見」

2023-24年度 会長 宮田幹二

豊中市北桜塚に住んでいます。近くには、大曽公園、大門公園、大塚公園、桜塚高校、南桜塚小学校などがあり、桜の開花から満開、花吹雪まで、毎年二週間ぐらいはウオーキング中に楽しめます。結婚前に住んでいた大阪市都島区では、淀川（大川）河畔に桜並木が4kmぐらい続き、大阪城にもつながっています。毎年のように、河畔の桜の花見に出かけ、造幣局の通り抜けも楽しみました。

大阪大学吹田キャンパスとその周辺には、かなりの桜並木があります。毎年、できる限り満開に近い桜を見ながら、研究室の新歓コンパを行い、談笑とビールでメンバーの交流に興じていました。妻の勤務先の神戸薬科大学では、キャンパスの小さな池の周りにはかなりの桜があります。定年退職の時に、桜の記念植樹をして、もうかなり大きくなったとのことでした。

ロータリークラブは、服部緑地公園（日本の都市公園100選の一つ）で、桜の植樹を行いました。第2660地区IM第1組のロータリーデーの時（2018年3月）で、それから6年、かなり大きくなってきました。ウオーキングで緑地公園に行った時には、いつも見るようにしています。自身の関わった木をみると、元気になるような気がします。今後も植樹の機会があれば、参加したいものです。

第二次大戦後に生まれ、天災が多いとはいえ、幸い日本は平和な時代が続き、ずっと満開の桜を楽しんできました。今後も日本全国の満開の桜を求めて旅行しようと思います。

2024年4月23日（火）例会

「米山奨学金：普通寄付と特別寄付」

2023-24年度 会長 宮田幹二

米山奨学生は修士・博士課程の場合、月額14万円の給付型奨学金をもらえます。選考基準は、「学業、異文化理解、コミュニケーション能力における熱意や優秀性」です。普通寄付(6000円/人)と特別寄付(3万円/人)が毎年要請されています。「クラブの現況」に基づき、豊中RCの実績を記します。

(2014-15)：(普通 5,500円 x45名=250,250円) (特別 250,250円) (無し)

(2015-16)：(普通 6,000円 x43名=258,000円) (特別 258,000円) (無し)

(2016-17)：(普通 6,000円 x42名=252,000円) (特別 252,000円) (無し)

(2017-18)：(普通 6,000円 x42名=252,000円) (特別 252,000円) (米国：ジルカ シャン ロバート)

(2018-19)：(普通 6,000円 x36名=216,000円) (特別 545,000円) (韓国：キム ジウン[半年間])

(2019-20)：(普通 6,000円 x37名=222,000円) (特別 842,000円) (中国：楊 馳)

(2020-21)：(普通 6,000円 x37名=222,000円) (特別 761,000円) (中国：楊 馳)

(2021-22)：(普通 6,000円 x38名=228,000円) (特別 590,000円) (ネパール：パストラ ススミタ)

(2022-23)：(普通 6,000円 x37名=222,000円) (特別 660,000円) (ネパール：パストラ ススミタ)

(2023-24)：(普通 6,000円 x34名=204,000円) (特別 670,000円) (中国：アジサイハン)

今年度は3月末で、普通186,000円、特別300,000円。一人当たりの平均は15,677円です。

この平均を3万円にできる限り近づけないと、来年4月の採用は難しくなるでしょう。

2024年5月7日（火）例会

「一般会計の赤字化を避ける」

2023-24年度 会長 宮田幹二

豊中RCの一般会計の現状を述べます。単刀直入に言えば、赤字化を如何に回避するか、です。

今年度当初予算では、収入1327万円（前年度繰越金157万円、年間の通常会費など1170万円）とし、来年度繰越金は10万円と予想しました。月次会計(Excel 使用)により、今年4月下旬で今年度支出額の予想がほぼ固まり、来年度への繰越金はほぼゼロ近くなります（配布資料）。言い換えると、来年度予算では、今年度の繰越金に相当する金額の収入増あるいは支出減が必要になります。

このように財政が逼迫する理由は、会員数（一昨年度37名、昨年度34名、今年度31名）の減少にも拘わらず、例会食費は値上がりし、地区負担金、と事務管理費がほぼ変わらないことです。コロナ禍では例会数が減り、繰越金は増大しましたが、昨年度と今年度で繰越金を使い切ったというわけです。

昨年度から、このような事態は予測され、次のような対応策が進められました。

1. 月間の例会数を4回から3回に減らし、例会食費と会場費を減らす。
2. 豊中RC奨学生を2名から1名に減らし、一般会計からの留学生支援金（70万円）をゼロにする。
3. 今年度は、一般会計からの奉仕活動助成金（70万円）をゼロにする。

なお、年間の特別会費では、米山と豊中RCの奨学金、RI財団と地区負担金の一部を徴収しています。しかし、RI人頭分担金と地区負担金の一部（地区運営活動資金など）は通常会費で賅っています。

結論として、会員増強が進まない限り、来年度は特別会費の値上げが避けられません。

2024年5月14日（火）例会

「米山奨学生の選考：日本語能力」

2023-24年度 会長 宮田幹二

豊中 RC は、米山奨学生を受け入れてきました。ここ5年間では、次の3人です。

2019.4-2021.3 楊 馳(中国)、関西大学、研究：日中における近代語彙の形成と交流

2021.4-2023.3 パストラ ススミタ(ネパール)、大阪女学院大学、研究：平和教育

2023.4-2025.3 ア ジサイハン(中国)、大阪大学、研究：保健学

いつも驚くのは、米山奨学生の日本語能力が非常に高いことです。一体どのような選考過程を経て選ばれたのか、興味が湧きます。ガバナー月信3月号（8頁-9頁）に基づき、概略を紹介します。

(1) 指定校推薦制度： 第2660地区では23校あり、学内担当者への説明会を経て、学内公募をする。

(2) 書類選考： 申請書類、研究計画書、小論文などを提出する。応募者71名。

(3) 面接試験（1月）： 面接はすべて日本語で行う。（午前）5名から6名のグループ討論：「卒業後の社会貢献についてどのように考えますか？」をテーマに、グループで15分間、自由に日本語で発言する。（午後）個人面接（20分間）：日本留学終了後の将来計画やロータリーへの興味など、様々な質問。

(4) 採用枠51名、継続枠が18名あるので、新規合格枠は33名ぐらいの予定である。

面接委員の感想： 本年はほとんどの応募者がすでに流暢な日本語を話し、コミュニケーション能力の高い人が多いと感じました。ガバナー月信の記事を読み、米山奨学生の日本語能力は本物だなと、感心します。40年前にドイツ留学した時の私のドイツ語能力と比べると雲泥の差です。

2024年5月28日（火）例会

「ミトコンドリアが進化を決めた？」

2023-24年度 会長 宮田幹二

化学を専門として研究を長年行くと、専門馬鹿、井の中の蛙になってきます。少しでも科学の全体像に近づきたいとの思いから、グラフィック雑誌を読み始め、以前に「ニュートン」を紹介しました。加えて科学関係の書物も読んできましたが、その一つとして、「ミトコンドリアが進化を決めた」ニック・レーン（著）、斎藤隆央（訳）：みすず書房（2007年）を紹介します。レーンの著書には、他に「生命の跳躍-進化の十大発明-(2010年)」、「生命、エネルギー、進化（2016年）」などがあります。

序 ミトコンドリア（世界を操る影の支配者）： 私達の各細胞に300-400個、人体全体では1京個存在します。20億年ほど前、ある細胞が自分より大きな細胞の中に入り、エネルギー発生つまり発電所の役割を果たすようになりました。入られた方の細胞は、そのエネルギーを使い、10万倍も大きな真核細胞に進化し、複雑になりました。現在でも、ミトコンドリアは独自の遺伝子を持って交信しています。

第1部 真核細胞の起源： 異なる細胞同士の融合はよく起こることです。しかし、真核細胞を生み出した不思議な細胞融合は、一体どのように起こったのか。第2部 生命力（プロトン・パワーと生命の起源）、第3部 内部取引（複雑さのもと）、第4部、5部へと続き、第6部 両性の戦い： ミトコンドリアは母系でのみ受け継がれます。第7部 生命の時計： なぜミトコンドリアはついにはわれわれを殺すのか。どうしたら晩年がより良いものになり、老化をくい止められるのかもわかる、のではないかと？

分子生物学は、生命の根源に関する様々な疑問に答えられるようになりつつある、と言えるかも。

2024年6月4日（火）例会

「資産運用立国に向け、大きく方向転換できるか」

2023-24年度 会長 宮田幹二

敗戦後の焼跡を色濃く残した大阪市都島区で育ちました。子供の時、自宅周辺は舗装していない道路がほとんどで、車に気をつけることも無く、塀や境界の無い原っぱなどで遊び回りました。

振り返れば、日本は高度経済成長するなかで、社会には何とも言えない活気があり、工学部の大学院生も感うことなく研究に明け暮れ、未来への明るい展望があったような気がします。1981年西ドイツに妻とともに留学し、学生や大学、社会の雰囲気の違いに気づきました。出発前に読んだ本では、文化の違いが大きく、それを楽しめとあり、なるほどと感嘆する日々が続きました。

しかし、1989年1月昭和天皇崩御、そして日本経済のバブル崩壊、ベルリンの壁崩壊と続き、世界史が大きく転換しました。個人的には、40歳で岐阜大学への単身赴任となり、大変換の生活となりました。円高は続き、主要な企業は国外に生産を移し、国内工場は閉鎖され、氷河期の就職となりました。それでも日本は低成長ながら拡大が続き、定年後はどうなのか、という余裕はありませんでした。

最近、「資産運用立国」構想が打ち出されました。欧米の政策を取り入れて、老後のため日本国民は金融資産として、貯金よりも株や信託に投資しようというのです。これは、欧米企業の歴史を学ぶと、企業経営において、透明性や価値創造法の大転換を強いる可能性を秘めています。

若者世代から、十、二十年後に億万長者が続々と生まれ、奉仕と寄付の精神が当然なことになる時代がくるでしょうか。

2024年6月11日（火）例会

「46億歳の地球との対話 : 感動、畏れ、愛」

2023-24年度 会長 宮田幹二

高校生の頃、地球の年齢は何歳という疑問を抱くことはありませんでした。それが、太陽系の始まりと同じで、ほぼ46億歳ですと知ったとき、何か強い感動を覚えた記憶があります。億年の長さで地球を考えると、感動とともに、畏れや愛も抱くようになりました。例を三つあげます。

(I) 地球に大隕石が衝突し、そのため、恐竜が減りました。しかし、なぜか、その後哺乳類が進化し、人類が誕生しました。実は、大隕石と地球の衝突は何度もありましたが、消えた衝突穴も多いのです。

(II) 地球の大陸は動いています。そのため、インド大陸が衝突し、ヒマラヤ山脈ができる。地震があり、大噴火もある。一方、大昔の大陸で繁栄した植物や生物が石炭、石油、天然ガスに変わり得る。

(III) 地球全体が凍結したことがあり、スノーボールアースと呼ばれます。氷河が地球の半分ぐらいを覆っていた時とは、全然違うのです。赤道でも深い深い氷に覆われたことがある。

地球の表面に対し、地球の中、奥深くはどうなっているのだろう。

一方、宇宙を見ると、無数の恒星が見えます。すでに、恒星の周りで5千個以上の惑星が見つかりました。これらの恒星は、地球のような惑星をもつでしょうか。観測技術の向上が続くと、ひょっとしたら見つかるかもしれません。でも今のところ、唯一の愛すべき星、地球です。

若いときの知識が、次々に革新されることになり、科学技術の発展に驚きが続く人生です。

2024年6月15日（土）例会
「豊中 RC 創立 65 周年記念日例会」

2023-24 年度 会長 宮田幹二

豊中 RC 創立 65 周年記念日例会を迎え、2009 年発行の記念誌「五十年の歩み（豊中ロータリークラブ）」に目を通しました。

豊中 RC は 1959 年（昭和 34 年）6 月 16 日に発足しました。ホスト（親）クラブは池田 RC（発足 1955 年）で、発足時の会員数は池田 RC からの 13 名と新メンバー 10 名の計 23 名でした。会員数増加に伴い、1969 年（昭和 44 年）豊中南 RC、1972 年（昭和 47 年）豊中北 RC（豊中大阪国際空港 RC に改称し、解散）、1986 年（昭和 61 年）豊中千里 RC へと拡大、分離しました。

会員数は一時期 80 名に達しましたが、バブル崩壊後減少し始め、45 名前後から、2017 年よりは 30 人代に減りました。このような歴史を踏まえ、昨年 10 月 28 日に豊中・豊中南・豊中千里三 RC 合同例会が、このホテル阪急インターナショナルで開催されました。なお、大阪地区のロータリー 100 周年を祝う地区大会は 2022 年 12 月に開催されました。

奉仕と親睦の部には、国際奉仕のマッチング・グラント（後にグローバル・グラントに変更）、出前課外授業、留学生奨学金制度、親睦の写真の 4 項目があり、豊中 RC の奉仕活動が一望できます。これらの諸活動は、現在にも引き継がれています。コロナ禍で中断した出前課外授業は、朝日カルチャーセンターの出前授業に引き継がれ、小中学校でのそれは今後の課題となっています。

本日は、フルート演奏を楽しみ、豊中 RC の歴史を紐解きながら、親睦のひと時を過ごしましょう。

2024年6月25日（火）例会
「おわりに : コロナ禍後の RC 活動」

2023-24 年度 会長 宮田幹二

昨年春に、幸いコロナ禍は終息し、日常生活はもどりました。しかし、様々な内圧と外圧により、日本は大きく変動せざるを得ない状況にあり、日本の RC 活動はどのように変化するでしょうか。

（1）DEI（多様性・公平さ・インクルージョン）：日本社会に広く浸透すると、日本国憲法の理念が空想ではなく、現実になります。私の小中高時代には、憲法は理想と言われ、現実との乖離に失望したものです。国際的な外圧により、日本の RC は DEI の牽引役になっていかざるを得ないでしょう。

（2）高齢化：医療における科学技術の進歩は、老化による生命の限界を次第に取り払っています。高齢者の人間力は、体力・精神力・経済力などに応じて非常に多種多様です。人生の充実感や満足度は、益々個性化し、多種多様になるでしょう。RC 活動もそれに対応せざるを得ないでしょう。

（3）少子化：コロナ禍後も少子化は止まりません。子育て支援・働き方改革など、多種多様な政策が実を結び、男女平等が社会の到る所で実現するまで、続きそうです。子育て世代が日本の RC 活動に参加するのは、不可能でしょうか、夢に過ぎないでしょうか。

（4）デジタル化と生成 AI：奉仕活動にもクラウドファンディングが生まれ、寄付者はその成果を容易に見届ける時代です。豊中 RC は、奉仕活動の内容・参加法・成果などを広く社会に公開して、共感する仲間を増やすことができるでしょうか。

この一年、奉仕活動は順調に進みました。皆様の熱意ある諸活動に敬意を抱き、感謝致します。